

2022 年度（令和 4 年度）以降の
福山市成人式の在り方に関する方針

福山市
市民局まちづくり推進部青少年・女性活躍推進課

はじめに

2018年（平成30年）6月に民法の一部を改正する法律（平成30年法律第59号）が施行され、2022年（令和4年）4月1日から民法（明治29年法律第89号）の定める成年年齢が18歳に引き下げられることとなった。

他方で、成人式については、その実施の具体的な方法が法律で定められているわけではなく、その対象年齢を何歳とするか等、成人式の在り方については、地方公共団体の判断で決められるものであり、成年年齢が18歳に引き下げられたことにより、必然的に成人式の対象年齢が18歳に引き下げられるわけではない。

しかし、成年年齢の引き下げによって、成人式の対象年齢など、その在り方等について事実上の影響を及ぼす可能性があることなどから、国は、2018年（平成30年）10月31日に「成年年齢引下げを見据えた環境整備に関する関係府省庁連絡会議」の下に「成人式の時期や在り方に関する分科会」（以下「分科会」という。）を設置し、2020年（令和2年）3月に「成人式の時期や在り方に関する報告書」（以下「国の報告書」という。）を取りまとめた。

福山市においては、成人式の在り方等を検討するに当たり、幅広く意見を聴取するため、2020年（令和2年）9月30日に「福山市成人式実施方法検討委員会」（以下「検討委員会」という。）を設置し、国の報告書を参考に意見を伺い、福山市成人式の在り方に関する方針を作成した。

1 福山市成人式の実施について

(1) 方針

- ・本市では、「おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝いはげます」目的で成人式を開催しており、2022年度（令和4年度）以降についても、次の理由から、引き続き、成人式を実施していく。

(2) 理由

- ・成人式は、人生における大きな節目であり、責任ある大人としての自覚や社会参加を促す機会として必要である。
- ・地域社会で新成人の大人としての門出を祝福し、また、新成人も大人になるまで様々な形で支えてくれた周囲や社会に対して感謝する機会として必要である。

2 福山市成人式の対象年齢について

(1) 方針

- ・対象年齢を20歳とする。

(2) 理由

- ・成人式の対象年齢を18歳とした場合、対象者の多くが大学受験や就職の準備等で時間的・精神的余裕がないため、成人式への出席が負担となる。また、大学入学のための準備などで家計の負担が増える時期と成人式が重複し、保護者等の経済的負担が大きくなる。
- ・18歳から20歳までの2年間に大学生や社会人としての経験を積むことにより、社会の規範をより深く理解し、より深い自覚を持って社会に貢献することができるようになるため、成人式がより意義深いものになる。
- ・飲酒や喫煙などは20歳になるまで禁止されている。

- ・検討委員会では、18歳を対象としたときの負担はとて大きく、保護者や学校の目線でも困難な印象を抱くとの意見がある一方、20歳を対象とする方針は多くの方が賛同されると思うが、選挙権年齢が引き下げられ、今回民法の成年年齢が引き下げられることについては、重く受け止めて欲しいとの意見があった。
- ・今後、時間の経過により18歳が成人という考え方が定着していけば、その時代に合わせ、成人式の対象年齢を改めて検討する必要があるが、今回の民法改正に伴う成人式としては、当事者の負担などを考慮し20歳を対象とすることとした。

3 対象者（20歳）の範囲について

(1) 方針

- ・対象者（20歳）の範囲は学齢方式とし、4月2日から翌年4月1日生まれの人とする。

(2) 理由

- ・対象者（20歳）の範囲は、学齢方式以外に、成人式当日に満20歳となっている人を対象とするほか、1月1日から12月31日までに生まれた人を対象とするなど、様々な方法が考えられるが、いずれの場合も同一学年で一緒に成人式に出席することができない。
- ・検討委員会では、都市により対象者（20歳）の範囲が異なるため、住所変更前後の都市の対象範囲の違いにより、どちらの都市の成人式へも出席できなかった事案が報告されたが、多くの都市で採用している学齢方式が良いと判断した。

4 福山市成人式の開催時期について

(1) 方針

- ・本市では、成人の日の前日（日曜日）に開催しており、引き続き、成人の日の前日（日曜日）に開催する。

(2) 理由

- ・成人式での新成人に対するアンケートにおいて、成人の日の前日（日曜日）の開催が良いという意見が多かった。
- ・成人の日の前日（日曜日）にすることで、翌日が祝日となるため、市外から帰省する人が落ち着いて出席しやすい。
- ・美容院や理容院，貸衣装店，写真館などへ開催日に関する意見を伺ったところ，成人の日の前日（日曜日）の午後が良いとの意見が大多数であった。

5 その他

(1) 成人式の課題

- ・近年の成人式では，人に迷惑をかけるような問題行動は見られないものの，次のような課題がある。
- ・例年，5千人弱の対象者のうち，参加者は半数強となっている。
- ・来場したものの会場に入らず，会場周辺に長時間滞在する新成人が少なからずいる。
- ・会場に入った新成人の一部が，式や行事の途中で席を立つなど，大人としての自覚を持った行動となっていない。

(2) より良い成人式に向けて

- ・今後，課題を解決するため，名称をはじめ，開催場所，式典内容，記念行事内容，記念品のほか，新型コロナウイルス感染症対策の新しい生活様式での開催などについて検討していく。